

2025年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)



2025年5月14日

上場会社名 菊水化学工業株式会社 上場取引所 東・名
コード番号 7953 URL <https://www.kikusui-chem.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 今井田 広幸
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理本部長 (氏名) 遠山 真樹 (TEL) 052-300-2222
定時株主総会開催予定日 2025年6月27日 配当支払開始予定日 2025年6月11日
有価証券報告書提出予定日 2025年6月27日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期の連結業績(2024年4月1日～2025年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	21,390	△4.5	264	△52.2	341	△46.2	165	△55.9
2024年3月期	22,392	△0.1	554	△2.7	635	△2.3	376	52.8

(注) 包括利益 2025年3月期 138百万円(△81.1%) 2024年3月期 733百万円(173.3%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年3月期	13.17	—	1.7	2.0	1.2
2024年3月期	29.98	—	4.0	3.6	2.5

(参考) 持分法投資損益 2025年3月期 ー百万円 2024年3月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	16,206	9,667	58.7	755.35
2024年3月期	18,071	9,714	53.0	762.90

(参考) 自己資本 2025年3月期 9,518百万円 2024年3月期 9,583百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年3月期	495	145	△676	4,041
2024年3月期	1,083	△552	△443	4,042

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年3月期	—	7.00	—	9.00	16.00	200	53.4	2.2
2025年3月期	—	7.00	—	10.00	17.00	214	129.0	2.2
2026年3月期(予想)	—	7.00	—	10.00	17.00		—	

(注) 2025年3月期の期末配当金の内訳: 記念配当 1円00銭

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,300	3.9	300	19.2	315	1.3	193	11.2	15.36
通 期	22,500	5.2	650	145.4	691	102.1	433	161.1	34.43

※ 注記事項

- (1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(注) 詳細は、添付資料P. 13「3. 連結財務諸表及び主な注記 (5) 連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期	12,744,054株	2024年3月期	12,744,054株
② 期末自己株式数	2025年3月期	143,298株	2024年3月期	182,147株
③ 期中平均株式数	2025年3月期	12,586,925株	2024年3月期	12,553,877株

(参考) 個別業績の概要

1. 2025年3月期の個別業績 (2024年4月1日～2025年3月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	20,507	△4.1	280	△43.6	339	△40.4	200	△43.7
2024年3月期	21,388	△0.9	496	△15.4	568	△12.1	355	△33.5

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期	15.91	—
2024年3月期	28.32	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	15,813	9,491	60.0	753.26
2024年3月期	17,658	9,532	54.0	758.85

(参考) 自己資本 2025年3月期 9,491百万円 2024年3月期 9,532百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 5「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(表示方法の変更)	13
(会計上の見積りの変更)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド消費などにより、景気が緩やかな回復基調で推移しましたが、不安定な国際情勢、原材料価格及びエネルギー価格の高騰、円安による物価高、人手不足の深刻化などの影響から、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、サステナビリティな経営を推進する上で、「何もしなくてはくすんでしまう未来を、菊水化学の力で明るく塗り変えたい」との思いと、「人を大切にしたい、自然を大切にしたい、人々の暮らしや街を大切にしたい」という想いを込め、『Repaint the future』をサステナビリティ方針として掲げ事業を展開しています。また、「製品を通じた街づくり」「安心して働ける環境づくり」「ガバナンスの強化と充実」の3つを、当社グループのマテリアリティとしてとらえ、環境に配慮した製品の普及、SDGsの活動、風通しの良い社内環境の整備などに取り組むことで、持続可能な社会の実現を目指しています。

当連結会計年度においては、原材料価格及びエネルギー価格高騰への対応とする価格改定を適時行い、ストック物件が拡大している改修市場を中心に、ニーズにマッチした製品の普及・提案に努めることで、製品販売及び責任施工による工事受注の拡大に取組みました。改修市場では、アスベストの除去や飛散防止を含む「環境対策」、屋根・壁に施工する遮熱・断熱塗料で「省エネ対策」、劣化した打放しコンクリートの質感を復元する「美観回復」、外壁タイルの落下を抑止する「剥落対策」、中性化・塩害により劣化したコンクリート構造物の「機能回復」、内壁・地下ピットでの「漏水対策」など、建物や構造物の困りごとを、製品販売及び完成塗膜を提供する責任施工で解決することが、社会的使命としてとらえ活動してまいりました。また、社会インフラ市場への展開として、断面修復材を中心に新たな需要の拡大に努めましたが、物価高による消費マインドの変化で、戸建て住宅の塗り替えが低迷したことから、需要が低調に推移しました。

その結果、当連結会計年度における業績は、連結売上高は213億90百万円(前期比4.5%減)を計上することになりました。

利益面におきましては、上記による売上高減少の影響と、今期実施した基幹システムの移行に伴う在庫の計算方法の見直しを行い、原価差異の会計処理を変更したことによる、当期売上原価計上額の2億14百万円の増加、及び、システム障害の経費増加により、連結営業利益は2億64百万円(同52.2%減)、連結経常利益は3億41百万円(同46.2%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は1億65百万円(同55.9%減)となりました。

この原価計算の見直しは、原価管理及び経営判断の迅速化を目的としており、長期的には財務の透明性と原価把握の正確性向上に資すると考えております。また、引き続き収益性の改善と持続可能な成長の実現に努めてまいります。

なお、当社グループは、製品販売・工事の単一セグメントのため、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 当期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当連結会計年度末の流動資産の残高は、103億48百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億30百万円の減少となりました。主な内容は、現金及び預金が3億14百万円減少、売掛金が5億3百万円減少したことによるものです。

(固定資産)

当連結会計年度末の固定資産の残高は、58億57百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億34百万円の減少となりました。主な内容は、機械装置及び運搬具が20百万円減少、投資有価証券が5億37百万円減少したことによるものであります。

(流動負債)

当連結会計年度末の流動負債の残高は、49億61百万円となり、前連結会計年度末に比べ18億15百万円の減少となりました。主な内容は、仕入債務が10億82百万円減少、短期借入金が4億円減少、未払費用が89百万円減少したことによるものであります。

(固定負債)

当連結会計年度末の固定負債の残高は、15億77百万円となり、前連結会計年度末に比べ2百万円の減少となりました。主な内容は、長期借入金が45百万円増加、社債が45百万円減少、退職給付に係る負債が26百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末の純資産の残高は、96億67百万円となり、前連結会計年度末に比べ47百万円の減少となりました。主な内容は、利益剰余金が39百万円減少、その他有価証券評価差額金が55百万円減少したことによるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は40億41百万円(前連結会計年度は40億42百万円)となりました。なお、当連結会計年度におけるキャッシュ・フローの状況と主な内容は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度末において、営業活動によるキャッシュ・フローは4億95百万円の資金の増加(前連結会計年度は10億83百万円の資金の増加)となりました。

これは主に、税引前当期純利益、減価償却費、売上債権の増減額による増加、仕入債務の増減額、未払費用の増減額による減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度末において、投資活動によるキャッシュ・フローは1億45百万円の資金の増加(前連結会計年度は5億52百万円の資金の減少)となりました。

これは主に、投資有価証券の売却等による収入の増加、有形固定資産の取得による支出の減少、固定資産の除却による支出の減少によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度末において、財務活動によるキャッシュ・フローは6億76百万円の資金の減少(前連結会計年度は4億43百万円の資金の減少)となりました。

これは主に、短期借入金の純増減額の減少、長期借入金の返済による支出の減少、配当金の支払額の減少によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
自己資本比率(%)	54.7	54.5	53.5	53.0	58.7
時価ベースの自己資本比率(%)	30.1	27.6	28.0	27.9	29.5
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	2.6	2.0	4.9	2.1	3.7
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	70.7	102.5	38.7	147.3	2.4

※自己資本比率：自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額/総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債/キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー/利払い

- (注) 1. 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。
 2. キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。
 3. 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

今後のわが国経済の見通しにつきましては、雇用・所得環境の改善やインバウンド消費などにより、景気が緩やかな回復基調で推移しましたが、不安定な国際情勢、原材料価格及びエネルギー価格の高騰、円安による物価高、人手不足の深刻化などの影響から、先行きは依然として不透明な状況が続いております。当社グループの属する仕上塗材業界におきましては、住宅・非住宅・マンションなどの改修市場が中心になります。その中、人手不足の深刻化、原材料価格及びエネルギー価格の高騰による物価高など、消費マインドを低下させる要因の影響もあり、成長市場である住宅塗り替え工事が低迷し続けたことから、依然として需要が低調に推移しています。

このような状況の中、当社グループではサステナビリティ方針「Repaint the future」を掲げ、社員がいきいきと能力を発揮して安心して働ける環境の整備、よりよい製品の提供と共に、よりよい街づくりの一翼を担う活動、コーポレートガバナンス・コンプライアンスを徹底するなど、持続的な成長に向けた事業基盤の強化に努め、持続可能な社会の実現に向け事業活動を推進してまいります。

建築用塗料の需要においては、市場のニーズにマッチした高付加価値製品の開発・製造・販売に取り組めます。工事につきましては、継続して安全・品質・コンプライアンスを中心に、強固な施工管理体制の充実化に取り組めます。

また、社会インフラ市場に対しても、セメント系製品を中心に需要拡大の取り組みを推進することで、建物や構造物の長寿命化の一翼を担ってまいります。

さらに、全社コスト削減を継続的にを行い、経営の効率化を目指してまいります。

次期（2026年3月期）の連結業績の見通しにつきましては、売上高225億円、営業利益6億50百万円、経常利益6億91百万円、親会社株主に帰属する当期純利益4億33百万円を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達の実現性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,376,740	4,062,634
受取手形	879,667	462,965
売掛金	2,916,638	2,413,233
電子記録債権	1,175,809	1,070,637
契約資産	95,002	57,645
商品及び製品	676,661	611,671
仕掛品	720,449	553,135
原材料及び貯蔵品	480,707	501,534
その他	267,034	622,813
貸倒引当金	△9,383	△7,923
流動資産合計	11,579,327	10,348,348
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,751,648	4,860,593
減価償却累計額	△3,261,434	△3,370,038
建物及び構築物（純額）	1,490,213	1,490,555
機械装置及び運搬具	2,144,785	2,147,590
減価償却累計額	△1,976,449	△1,999,569
機械装置及び運搬具（純額）	168,336	148,021
土地	1,605,137	1,605,137
リース資産	105,928	117,771
減価償却累計額	△41,152	△37,532
リース資産（純額）	64,775	80,238
建設仮勘定	52,382	818
その他	467,531	475,580
減価償却累計額	△419,154	△426,815
その他（純額）	48,377	48,765
有形固定資産合計	3,429,223	3,373,536
無形固定資産		
のれん	18,700	-
リース資産	486	-
その他	490,218	439,215
無形固定資産合計	509,405	439,215
投資その他の資産		
投資有価証券	2,287,669	1,750,100
繰延税金資産	85,668	113,289
その他	181,384	182,664
貸倒引当金	△909	△909
投資その他の資産合計	2,553,812	2,045,145
固定資産合計	6,492,441	5,857,897
資産合計	18,071,768	16,206,245

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,181,015	3,098,231
短期借入金	1,100,000	700,000
1年内償還予定の社債	101,600	45,400
1年内返済予定の長期借入金	199,026	204,276
リース債務	17,465	27,410
未払費用	602,902	513,736
未払法人税等	178,250	54,644
賞与引当金	119,462	123,449
完成工事補償引当金	1,936	3,150
その他	274,996	190,792
流動負債合計	6,776,655	4,961,091
固定負債		
社債	58,400	13,000
長期借入金	735,724	781,448
リース債務	54,875	60,050
繰延税金負債	6,639	7,478
役員退職慰労引当金	21,600	21,600
完成工事補償引当金	84,759	75,802
退職給付に係る負債	458,108	431,602
資産除去債務	44,153	52,153
その他	116,175	134,669
固定負債合計	1,580,436	1,577,805
負債合計	8,357,092	6,538,897
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,972,735	1,972,735
資本剰余金	1,670,795	1,670,795
利益剰余金	5,566,112	5,526,748
自己株式	△91,822	△72,232
株主資本合計	9,117,821	9,098,048
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	635,298	579,580
為替換算調整勘定	△165,104	△158,871
退職給付に係る調整累計額	△4,540	△715
その他の包括利益累計額合計	465,654	419,993
非支配株主持分	131,200	149,306
純資産合計	9,714,676	9,667,348
負債純資産合計	18,071,768	16,206,245

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
売上高	22,392,086	21,390,614
売上原価	17,368,371	16,460,654
売上総利益	5,023,714	4,929,959
販売費及び一般管理費	4,469,572	4,665,052
営業利益	554,142	264,907
営業外収益		
受取利息	3,533	3,872
受取配当金	49,257	55,099
仕入割引	610	388
為替差益	13,492	27,573
その他	39,398	25,426
営業外収益合計	106,293	112,360
営業外費用		
支払利息	7,354	20,768
支払手数料	8,648	8,653
その他	8,656	5,965
営業外費用合計	24,659	35,386
経常利益	635,776	341,881
特別利益		
投資有価証券売却益	24,107	83,555
関係会社清算損失引当金戻入額	4,366	-
特別利益合計	28,473	83,555
特別損失		
特別調査費用等	35,562	-
固定資産除却損	1,930	79,232
投資有価証券売却損	140	57,241
その他	846	1,106
特別損失合計	38,478	137,580
税金等調整前当期純利益	625,771	287,856
法人税、住民税及び事業税	192,105	115,582
法人税等調整額	38,734	△9,318
法人税等合計	230,839	106,263
当期純利益	394,931	181,592
非支配株主に帰属する当期純利益	18,593	15,769
親会社株主に帰属する当期純利益	376,338	165,822

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
当期純利益	394,931	181,592
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	315,935	△55,718
為替換算調整勘定	11,956	8,569
退職給付に係る調整額	10,319	3,824
その他の包括利益合計	338,211	△43,324
包括利益	733,143	138,268
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	711,458	120,162
非支配株主に係る包括利益	21,684	18,105

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自2023年4月1日 至2024年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,972,735	1,670,795	5,392,982	△104,976	8,931,537
当期変動額					
剰余金の配当			△200,755		△200,755
親会社株主に帰属する当期純利益			376,338		376,338
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		△2,453		13,154	10,701
資本剰余金から利益剰余金への振替		2,453	△2,453		-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	173,129	13,154	186,283
当期末残高	1,972,735	1,670,795	5,566,112	△91,822	9,117,821

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	319,363	△173,969	△14,859	130,533	109,515	9,171,587
当期変動額						
剰余金の配当						△200,755
親会社株主に帰属する当期純利益						376,338
自己株式の取得						△0
自己株式の処分						10,701
資本剰余金から利益剰余金への振替						-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	315,935	8,865	10,319	335,120	21,684	356,805
当期変動額合計	315,935	8,865	10,319	335,120	21,684	543,088
当期末残高	635,298	△165,104	△4,540	465,654	131,200	9,714,676

当連結会計年度(自2024年4月1日 至2025年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,972,735	1,670,795	5,566,112	△91,822	9,117,821
当期変動額					
剰余金の配当			△201,262		△201,262
親会社株主に帰属する当期純利益			165,822		165,822
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		△3,923		19,590	15,666
資本剰余金から利益剰余金への振替		3,923	△3,923		-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	△39,363	19,590	△19,773
当期末残高	1,972,735	1,670,795	5,526,748	△72,232	9,098,048

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	635,298	△165,104	△4,540	465,654	131,200	9,714,676
当期変動額						
剰余金の配当						△201,262
親会社株主に帰属する当期純利益						165,822
自己株式の取得						△0
自己株式の処分						15,666
資本剰余金から利益剰余金への振替						-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△55,718	6,232	3,824	△45,660	18,105	△27,554
当期変動額合計	△55,718	6,232	3,824	△45,660	18,105	△47,327
当期末残高	579,580	△158,871	△715	419,993	149,306	9,667,348

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	625,771	287,856
減価償却費	309,520	356,442
のれん償却額	18,700	18,700
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△64,740	△26,506
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2,246	△1,460
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△6,125	3,987
完成工事補償引当金の増減額 (△は減少)	△23,252	△7,744
関係会社清算損失引当金の増減額 (△は減少)	△8,320	-
受取利息及び受取配当金	△52,791	△58,972
支払利息	7,354	20,768
投資有価証券売却損益 (△は益)	△23,967	△26,314
固定資産除売却損益 (△は益)	2,576	79,147
売上債権の増減額 (△は増加)	△607,746	1,068,207
棚卸資産の増減額 (△は増加)	57,475	215,570
仕入債務の増減額 (△は減少)	674,409	△1,086,585
投資有価証券評価損益 (△は益)	-	1,106
未払費用の増減額 (△は減少)	8,390	△92,095
その他	216,902	△62,304
小計	1,131,910	689,804
利息及び配当金の受取額	52,791	58,906
利息の支払額	△7,592	△22,200
法人税等の支払額	△94,032	△231,204
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,083,076	495,306
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	11,999	△6,005
有形固定資産の取得による支出	△213,506	△212,769
無形固定資産の取得による支出	△351,481	△33,432
投資有価証券の取得による支出	△11,877	△54,889
投資有価証券の売却による収入	29,105	534,522
敷金及び保証金の差入による支出	△8,585	△1,249
有形固定資産の除却による支出	-	△78,204
その他	△7,886	△2,532
投資活動によるキャッシュ・フロー	△552,231	145,438
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△400,000	△400,000
長期借入れによる収入	400,000	270,000
長期借入金の返済による支出	△28,500	△219,026
社債の償還による支出	△172,200	△101,600
リース債務の返済による支出	△42,662	△25,021
配当金の支払額	△200,245	△200,764
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△443,608	△676,412
現金及び現金同等物に係る換算差額	22,657	34,481
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	109,893	△1,186
現金及び現金同等物の期首残高	3,932,514	4,042,408
現金及び現金同等物の期末残高	4,042,408	4,041,221

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる連結財務諸表に与える影響はありません。

(表示方法の変更)

(連結貸借対照表)

新基幹システムの稼働に伴い当連結会計年度より、棚卸資産がより精緻な管理が可能となったため、棚卸資産の区分を見直しております。そのため、前連結会計年度において「商品及び製品」に表示していた一部を当連結会計年度では「仕掛品」に表示しております。この結果、当連結会計年度において「商品及び製品」が3億76百万円減少し、「仕掛品」が同額増加しております。

(連結損益計算書)

前連結会計年度において、「特別損失」の「その他」に含めていた「投資有価証券売却損」は、重要性が増したため、当連結会計年度より独立掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結損益計算書において、「特別損失」の「その他」に表示していた986千円は、「投資有価証券売却損」140千円、「その他」846千円として組替えております。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

(単位:千円)

日本	中国	その他	合計
3,426,588	2,175	458	3,429,223

3 主要な顧客ごとの情報

顧客の名称又は氏名	売上高(千円)	関連するセグメント名
大和ハウスリフォーム(株)	2,651,124	製品販売・工事

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

(単位:千円)

日本	中国	その他	合計
3,363,602	9,403	531	3,373,536

3 主要な顧客ごとの情報

顧客の名称又は氏名	売上高(千円)	関連するセグメント名
大和ハウスリフォーム(株)	2,807,689	製品販売・工事

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり純資産額及び算定上の基礎並びに1株当たり当期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
(1) 1株当たり純資産額	762円90銭	755円35銭
(算定上の基礎)		
連結貸借対照表の純資産の部の合計額 (千円)	9,714,676	9,667,348
普通株式に係る期末の純資産額 (千円)	9,583,475	9,518,041
差額の主な内容 非支配株主持分 (千円)	131,200	149,306
普通株式の発行済株式数 (千株)	12,744	12,744
普通株式の自己株式数 (千株)	182	143
1株当たり純資産額の算定に用いられた 普通株式の数 (千株)	12,561	12,600

項目	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
(2) 1株当たり当期純利益	29円98銭	13円17銭
(算定上の基礎)		
連結損益計算書上の親会社株主に帰属する 当期純利益 (千円)	376,338	165,822
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益 (千円)	376,338	165,822
普通株式の期中平均株式数 (千株)	12,553	12,586

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。